

(コラム)

ICT を活用した総合的な学習の時間

— 探究的な学習の充実を目指して —

小原 広士（北海道教育大学附属旭川小学校）

1 はじめに

文部科学省（2019）「教育の情報化に関する手引」では「(前略) 社会生活の中で ICT を日常的に活用することが当たり前の世の中となる中で、社会で生きていくために必要な資質・能力を育むためには、学校の生活や学習においても日常的に ICT を活用できる環境を整備し、活用していくことが不可欠である。(中略) これからの学びにとっては、ICT はマストアイテムであり、ICT 環境は鉛筆やノート等の文房具と同様に教育現場において不可欠なものとなっていることを強く認識し、その整備を推進していくとともに、学校における教育の情報化を推進していくことは極めて重要である。」と示している。

また、文部科学省（2020）「各教科等の指導における ICT の効果的な活用に関する資料」では、総合的な学習の時間で、児童生徒一人一人が ICT を更に活用することにより「時間と空間を超えた学び」「個と集団の学びの深まり」「探究の高度化」が期待できると述べている。

本稿では、このような背景を踏まえ、探究的な学習を充実させるために、ICT を活用した学習活動を位置付けた総合的な学習の時間の実践を紹介する。

2 実践の概要

実践時期は令和2年6月から12月。単元名は『旭川の自慢調査隊』とした。新型コロナウイルスの影響により、旭川市の観光客の減少は免れない状況だと知った児童は「動画を配信して旭川市を元気にする」という目的に向かって以下の学習活動を進めた(図1)。

3 単元の実際

前述した単元構成(図1)の「④旭川の自慢を調

①旭川の自慢を見付けよう！

②旭川の自慢の発信方法を決めよう！

③決定した発信方法について学ぼう！

④旭川の自慢を調べよう！

- ・一人一人がタブレット端末を持って調査活動を行い、動画で発信する「自慢」を見付ける。
- ・タブレット端末で動画を撮影する。

⑤旭川の自慢を発信しよう！

- ・完成した動画を学校のHPで公開し、アンケートフォームで動画の「良かったところ」「改善すべきところ」を募る。
- ・「旭川の自慢動画」を全国に配信する。

図1 単元構成の概要

べよう！」、「⑤旭川の自慢を発信しよう！」における実際の学習活動について以下に述べる。

(1) 旭川の自慢調査と動画撮影

児童は動画配信の場所を6カ所決定した後、一人一台タブレット端末を持って担当場所の調査活動



図2 単元構成の概要

行った。それぞれの場所ごとに、ゲストティーチャー（以下、GT）が、自慢できる「もの」を説明した。児童は、それらをタブレット端末で撮影したり、ボイスメモ機能を使ってGTの話を録音したりした。

その後、児童は動画のシナリオづくりに取り組み、それをもとに撮影を行った（図2）。映像を動画編集ソフトで編集し、6本の動画を作成した。



図3 話し合い活動の様子

(2) 完成動画を改善し全国配信

完成した動画は学校のHPで公開した。視聴した保護者から動画の「良かったところ」「改善すべきところ」をWebによるアンケートフォームで募った。

それぞれの動画に寄せられた回答をグループ毎に集計し修正点を決めた。話し合いの際、一人一人がタブレット端末に完成した動画や保護者からの意見を映し出しながら議論した（図3）。

修正した動画を動画発表会で披露した。Web会議システムを活用し、オンラインで保護者などに配信した（図4）。動画は現在、旭川市観光コンベンション協会のHPにて公開中である。

(<https://www.atca.jp/machinotakara/> 令和3年7月現在)



図4 動画発表会の様子

4 おわりに

以下に、「児童質問項目」の結果（図5）と児童Aの振り返りの記述（単元の最後に実施）を示す（図6）。

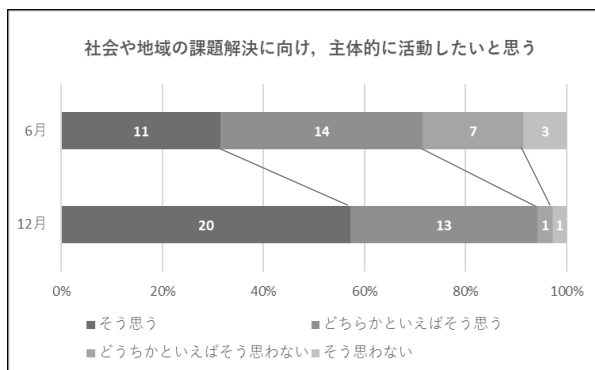


図5 質問項目の結果

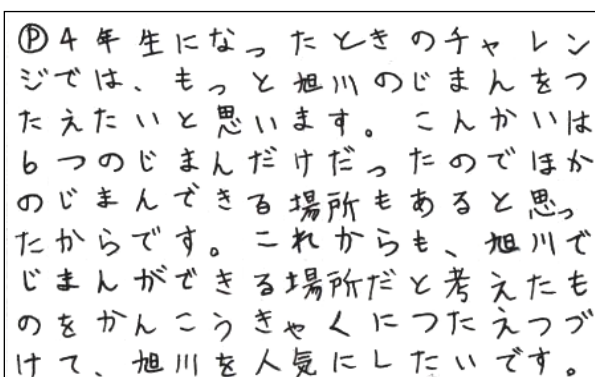


図6 児童Aの振り返り

このように、本実践では、「動画配信」に向けて前述した学習を進めるに連れて、児童が本気になって課題を追究するようになった。また、課題の質を高めたり、課題を更新したりしていく姿も見られた。このことから、ICTの活用場面を学習活動に位置付けることは、探究的な学習を充実させることに寄与すると感じている。今後も、効果的な活用の仕方について研究を積み重ねていきたい。

参考文献

- 1) 文部科学省(2019)『教育の情報化に関する手引』
- 2) 文部科学省(2020)『各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する資料』

注：本稿の骨子は、日本生活科・総合的学習教育学会第30回全国大会にて発表している。

竹谷出版電子ジャーナル『教育への扉』

第1巻、第2号

発行日：2021年9月6日

発行元：竹谷出版（竹谷教材株式会社出版事業部）